

魅力的なコンパクトシティを形成する、道路ネットワークの整備（防災・安全）

計画概要

◆ **計画期間** 平成29年度～平成30年度（変更前は平成29年度～平成33年度）

◆ **交付対象** 豊田市

◆ 計画の目標

【魅力的なコンパクトシティを実施する安心・安全の道路整備】

- ・ 豊田市の社会動態の特徴である、概ね25歳～40歳の“子育て世代”の市外流出を抑止するため、鉄道駅等を中心とした生活拠点における土地区画整理事業を推進するとともに、関連する都市施設を一体的に整備することにより、活力ある都市として持続的な発展を目指す。
- ・ 鉄道駅等を中心とした市街地整備事業に合わせ、安心・安全な道路を整備することにより、魅力的で活力あるコンパクトシティの実現を目指す。

魅力的なコンパクトシティを形成する、道路ネットワークの整備（防災・安全）

計画概要

◆計画の成果目標（定量的指標）

指標①：区画整理区域内における居住人口の増加

現況値（H28末）3,055 人／日 ⇒ 目標値（H33）4,094 人／日

指標②：安心・安全生活エリアの事業施行面積の合計に占める割合

現況値（H28末）42 % ⇒ 目標値（H33）94 %

評価内容

◆交付対象事業の進捗状況【事業数ベース】

交付対象事業	事業費※	事業の実施状況	進捗率※
A 基幹事業 (3業)	1,616百万円 (4,341百万円)	土地区画整理事業、街路事業を実施し、概ね計画通りの進捗となった。当初は5か年の整備計画であったが、1事業が完了し、2事業がH31年度以降、他の計画に移行した。	37.2%
B 関連社会資本 整備事業 (全1事業)	0円 (0円)	—	—
C 効果促進事業 (全1事業)	0円 (0円)	—	—
合 計	1,616百万円		

※事業費は交付対象事業費の実績額。()内は整備計画策定時の交付対象事業費

※進捗率(%)は各事業の計画に対する実施割合(事業数ベース)

評価内容

◆ 定量的指標の達成状況

指標① 区画整理区域内における居住人口の増加

当初現況値	3,055人	目標値と実績値に差が出た要因	本整備計画の計画期間（平成29・30年度）では、公共施設及び宅地の整備が施工途中であったため、最終目標を達成することができなかった。事業完了となる次計画期間での目標達成を見込む。
最終目標値	4,094人		
最終実績値	3,195人		

指標② 安心・安全生活エリアの事業施行面積の合計に占める割合

当初現況値	42%	目標値と実績値に差が出た要因	本整備計画の計画期間（平成29・30年度）では、公共施設及び宅地の整備が施工途中であったため、最終目標を達成することができなかった。事業完了となる次計画期間での目標達成を見込む。
最終目標値	94%		
最終実績値	52%		

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況①

■ 関連する成果目標（定量的指標）

指標①：区画整理区域内における居住人口の増加

現況値（H28）3,055人 ⇒ 目標値（H33）4,094人

【目標達成に資する事業】

豊田寺部地区（（都）豊田則定線外）

豊田土橋地区（（都）土橋竜神線外）



整備前

整備後
(施行中)



整備前

整備後
(施行中)

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の目標値の達成状況①

■ 事業効果

・計画道路の整備に合わせ、周辺宅地の整備率は向上した。区画道路等の供用開始と共に事業区域内へのアクセスが容易となり、地区内の居住者増加に繋がった。

現況値 (H28) 3,055 人 ⇒ 予定値 (H30) 3,084 人 ⇒ 実績値 (H30) 3,195 人

【目標達成に資する事業】

豊田寺部地区（（都）豊田則定線外）

豊田花園地区（（都）八橋駅前線外）



整備前



整備後
(施行中)



整備前



整備後
(施行中)

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の効果の発現状況②

■ 関連する成果目標（定量的指標）

指標②：安心・安全生活エリアの事業施行面積の合計に占める割合
現況値（H28）42% ⇒ 目標値（H33）94%

【目標達成に資する事業】

豊田寺部地区（（都）豊田則定線外）

豊田土橋地区（（都）土橋竜神線外）



整備前

整備後

（施行中）

整備前

整備後

（施行中）

◆事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する交付対象事業の目標値の達成状況②

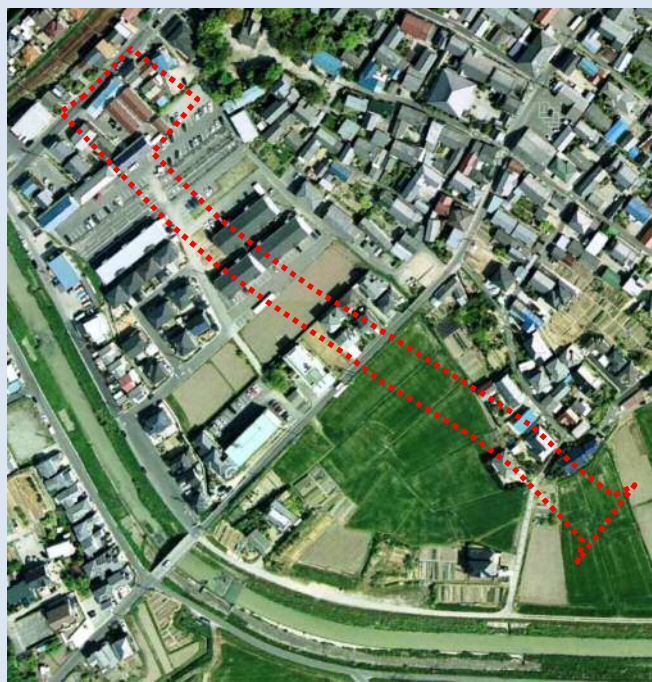
■ 事業効果

・ H29年度及びH30年度の各地区が予定した宅地整備は、建物移転件数の増加により、目標値に達しない状況であった。今後は、建物移転済の更地の造成に着手するため、宅地整備の進捗の上昇に合わせ安心・安全生活力バー率も上昇が見込まれる。

現況値 (H28) 42 % ⇒ 目標値 (H30) 72 % ⇒ 実績値 (H30) 52 %

【目標達成に資する事業】

豊田花園地区（（都）八橋駅前線外）



整備前



整備後（施行中）

◆今後の方針

本整備計画の計画期間は、平成29～33年度であったが、平成29年度に豊田土橋地区（（都）土橋竜神線外）事業が完了したが、豊田寺部地区（（都）豊田則定線外）事業及び豊田花園地区（（都）八橋駅前線外）事業がより効果的に社会資本の整備を進めるため、別計画へ移行した。

このことにより、本整備計画期間内での居住人口増加等の目標は達成することができないものとなったが、移行した整備計画において確実に実施し、事業効果の早期発現を目指します。

◆事後評価の実施体制、実施時期

事後評価の実施体制	
事後評価の実施時期	令和2年3月
公表の方法	豊田市 市街地整備課ホームページに記載 http://www.city.toyota.aichi.jp/shisei/gyoseikeikaku/toshiseibi/1014473.html